

# 長野県公連協だより

第153号

発行所  
長野県公民館運営協議会  
長野市若里1-1-4  
県立長野図書館内  
電話(026)217-6256  
FAX(026)217-7015

## 第七十回長野県公民館大会について

上田市中央公民館

館長 星野陽一

爽やかな晴天のもと、第七十回目の長野県公民館大会が上田市で開催されました。本大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一昨年、昨年と、二年連続でオンライン形式

により開催されましたが、節目となる第七十回目の大会は、三年ぶりに県内各地から大勢の方にご参加いただき、盛大に開催することができました。

今から百年以上前の一九二一年に「自由大学運動」の起点となつた、「上田自由大学」が創設された上田市に社会教育関係の皆さんが一堂に会し、「どのような状況下にあっても、公民館に学びの場を設けていく方法を考えよう!」をテーマに、公民館のあり方や当面する諸課題について研究・討議されたことは非常に感慨深いものでした。

大会初日の全体会の研修会では、上田市教育委員会生涯学習・文化財課上田城跡整備担当政策幹の和



また、研修会後に開催された講演会では、尚絅学院大学教授の松田道雄氏から「すべての人々の幸せづくり人生百年公民館」とと題し、平等な会話「等話」により問い合わせ合う会話の意義と、等話による地域活性化に向けた取組事例を紹介していただくとともに、隣り合った参加者同士で等話の実践を行つていただきました。



大会二日目には、九つの分科会が開催され、上田城跡の現地見学やコロナ禍における公民館活動の事例発表、一絃琴の体験講座などが行われるとともに、閉会式で次期開催地の長野市立公民館連絡協議会に大会旗の引き継ぎを行つることができました。

コロナ禍において、無事大会が開催できましたのは、長野県公民館運営協議会と東信地区公民館運営協議会・上田市公民館運営協議会を初めとする大会スタッフ、また、参加者の皆様のご協力があつてのことです。心から感謝申し上げます。

令和五年九月  
関ブロ長野大会が開催されます

第六十三回関東甲信越静公民館研究大会長野大会（第四十五回全国公民館研究集会）が、令和五年九月二十八日（木）・二十九日（金）に長野市で開催されます。

二日目の分科会は長野市生涯学習センター、長野県農協ビル、長野市柳原交流センターを会場として開催いたします。

今年度までの三年間は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、参考しないオンラインによる開催となっていましたが、来年度の長野大会は、令和元年度以来四年ぶりに参加者が参考する形での大会開催を目指しています。

開催の準備のため、昨年十月に実行委員会を立ち上げ、既に委員会を二回開催し、大会日程、大会テーマ、趣旨、記念講演の講師、分科会の構成等について検討しています。また、総務、全体会運営、分科会運営、歓迎の四部会も組織され、充実した大会となるよう万全の準備を進めていきます。

また、県外の公民館職員の皆様



佐久市中央公民館

公民館と私

リレー  
コラム

「長野県らしい  
公民館とは?」

が多数来られることから、長野県の公民館活動を知つていただく良い機会でもあり、お互いの情報を交換し合うことで、充実した実りある大会にしたいと考えています。県内の公民館職員の皆様には、またとない機会ですので是非ともご参加いただき、十一年ぶりに長野県で開催される本大会を盛り上げていただきますようお願いします。

白さやその大きさが徐々に分かってきてきました。『学びと自治』の実現に向け、創造的に活動をつくつていける主体性が保障されていることが、何よりも魅力でした。そして、職員と共に模索しながら様々な取り組みを始めました。

その一例が《子ども公民館》でした。公民館活動の活性化を願い、夏休みやその前後の休日を活用し、市の二つの地区公民館と連携して、

現に向け、創造的に活動をつくつていける主体性が保障されていることが、何よりも魅力でした。そして、職員と共に模索しながら様々な取り組みを始めました。

五年間の経験でしたが、何より有り難かったのは多くの人との繋がりが作れたことでした。人と人との絆は社会づくりの基であり、《集い、学び、結ぶ》公民館の要でもあります。そして、それは私が頂いた一生の宝物になりました。

退任後は地域の皆さんに少しでも恩返しができればと思い、区の役員を引き受けました。

自然や歴史、物作りなど二十以上の多様な講座を展開。同伴する若い父親や母親を公民館に引き込めばという下心もありましたが、真剣な眼差しで活動する子供の姿や館内に溢れる元気な声は私にとって大きな励みでした。

また、公民館の講座や学習グループ（同好会）で学んだことを地域に還元する活動を取り込もう

この一年、役員としてこの区の公民館（自治公民館）の様子を見てきましたが、活動は決して活発といえるものではありませんでした。私の近隣地域に限つたことかもしれません、今まで行なわれてきた活動を漫然と繰り返すだけで、なかには出来ればそれもせずに任期を終了できればと思っていました。

その原因としてはコロナ禍によ

公民館との関係が始まりました。

とし、その大きさを個々に伝えることから始めました。やがて公民館の講座に補助指導員として参加したり、学校に出向いて短歌や俳句等の指導をしたりする動きが生まれてきたのは有り難いことでした。しかし、こういった動きを確かなものとして広められないまま退任を迎えました。

五年間の経験でしたが、何より有り難かったのは多くの人との繋がりが作れたことでした。人と人との絆は社会づくりの基であり、『集い、学び、結ぶ』公民館の要でもあります。そして、それは私が頂いた一生の宝物になりました。

退任後は地域の皆さんに少しでも恩返しができればと思い、区の役員を引き受けました。

ところが、この一年、役員として区の公民館（自治公民館）の様子を見てきましたが、活動は決して活発といえるものではありませんでした。私の近隣地域に限つたことかもしれませんのが、今まで行なわれてきた活動を漫然と繰り返すだけで、なかには出来ればそれもせずに任期を終了できればと思っているようにも感じられました。

その原因としてはコロナ禍によ

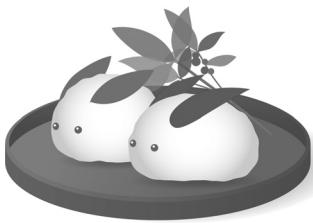
る活動の停滞ということも考えられます。しかし、それ以上に担当者に公民館の意義や役割が理解できないこと、更にはそれを学ぶ機会がコロナ等で奪われていることが考えられました。また、担当が二、三年おきに交代し、そのため公民館運営の理念や方針が共有化せず継続されないといった構造的な問題もあるように思いました。これらの問題を解決するのは大変に難しいことですが、一歩ずつでも改善を進め、公民館がより一層身近で頼りがいのあるものとなるよう、私も精一杯応援をして行なっています。

### 県教委より

#### 「信州型コミュニティスクールと公民館」

現行の学習指導要領では、「社会に開かれた教育課程」という言葉が使われています。

これからの中学校では、「どんな子どもに育てたいのか」ということを、学校と地域でじっくり話し合ひながら、一緒に教育活動（協働活動）に取り組んでいくことが大



（文化財・生涯学習課

指導主事 楠 武明）

層身近で頼りがいのあるものとなるよう、私も精一杯応援をして行なっています。

これらの大変に難しいことですが、一歩ずつでも改善を進め、公民館がより一層身近で頼りがいのあるものとなるよう、私も精一杯応援をして行なっています。

これらの大変に難しいことですが、一歩ずつでも改善を進め、公民館がより一層身近で頼りがいのあるものとなるよう、私も精一杯応援をして行なっています。

これらの大変に難しいことですが、一歩ずつでも改善を進め、公民館がより一層身近で頼りがいのあるものとなるよう、私も精一杯応援をして行なっています。

これらの大変に難しいことですが、一歩ずつでも改善を進め、公民館がより一層身近で頼りがいのあるものとなるよう、私も精一杯応援をして行なっています。

切になります。

## ブロックニュース

北信

**大豆を栽培し、味噌を作る**

現在、地域と学校が同じ目標に向かって協力して子どもを育てていく信州型コミュニティスクールが県内全ての公立小中学校に導入され、多くの公民館関係者の皆様に関わっていただいております。

長野県では、多くの公民館が地域の核となり、住民同士をつなぐ役割を果たし、人材を発掘し、どんな人材がいるかを把握されています。



長野市立朝陽公民館  
館長 高野 豊

では、遊休農地を利用して大豆を栽培し、その大豆を使つて味噌作りまでの講座を開催しています。

農地は、四十五m×四十mで半分は、他の野菜や黒豆・枝豆を作り、半分の面積で大豆を栽培しています。

講師は地元の方で、農家ではありませんが農業に詳しく、豆トラのオペレーションも担当していました。

受講生は、毎年募集をしており、今年は二十九名です。

六月に大豆の種豆を撒き、草取り、土寄せ、一回の消毒作業を行い、十月下旬に収穫し、十一月中旬に豆たたきを行いました。

今年は豊作で、約百五十kgの大

豆が収穫することができました。大豆作りは七年目ですが、初めから成功したわけではなく、長野市農業政策課のご指導を受け、種豆は「なかせんなり」とし、種豆を普通に撒くと鳥が食べてしまうので、「キヒゲン」という薬剤を種豆に浸してから撒くようにしました。

収穫をした大豆は、稲を干すはぜ掛けを使って二週間ほど天日干して、豆たたきを行いますが、この豆たたき作業が大変な重労働です。来年からは、「大豆の脱穀機」を借りて、省力化を図りたいと考えています。



味噌作りは、大豆と麹と塩が原料で、大豆を耳たぶ位の柔らかさに煮てそれを「ミンサー」で絞り、器に入れて重しをします。二月に仕込んで、十一月から食べられます。三kgの大で約十二kgの味噌ができます。

遊休農地は、朝陽公民館周辺の平坦地でも多くなってきました。遊休農地を有効利用して農業未経験者に農作業をしてもらい味噌作りまで経験していただくことは、持続可能な社会づくり、SDGsにもつながるのではないかと考えております。

## ここに生きる 米作りを体験しました

塩尻市吉田公民館

主事 佐原 守

吉田公民館は、松本市に隣接する塩尻市北部に位置し、五分館で構成され、地区の真ん中を国道十九号とJRの線路が南北に縦断し、水田や畑などの田園風景が広がる



東側と区画整理による住宅地が多い西側に大別される地域です。

田園風景が広がる地域ではあります。が、農作業を経験した事がない住民も多く、米作りを体験したい要望があり、今年度公民館事業として、七回に分けて、米作り講座を開催しました。

参加者自身が苗を植え、稻の生長を見守り、稻刈りを体験していただきました。

何気なく眺めていた田んぼで多くの米が作られていて、農家の方に感謝したい声も聞かれ、好評を得られました。

地域の資源を大切にし、地域の声を聴きながら、地域に即した公民館活動を継続するための企画は何かを考える毎日です。

## 赤穂公民館で 分館コンサート開催

駒ヶ根市赤穂公民館  
係長 桐山 大

赤穂公民館は令和二年七月に駒ヶ根文化センターの北隣に新築移転しました。二百九十三人定員のホールを有する公民館となりました。

赤穂地区各区には十四の分館があり、その活動を応援することを赤穂公民館の重要な柱として掲げています。ここ何年か「出張赤穂公民館」として講師を用意したり分館に出向いて共に運営したりすることを想定していましたが、リクエストはありませんでした。

ところがコロナ禍で従前の活動ができないことになりました。そこで分館が赤穂公民館を活用して「出張分館」が行われることが多くなっています。



## 表彰

### 文部科学省 優良公民館表彰

下諏訪町公民館

白馬村公民館

### 公益社団法人全国公民館連合会 永年勤続職員表彰

小谷村公民館前主事 濑谷 祥充

### 公益社団法人全国公民館連合会 全国公民館報コンクール

金賞	小諸市公民館
銀賞	小山村公民館
特別賞	飯綱町公民館
奨励賞	松本市芳川公民館